



現代社会学部 現代社会学科 通信教育課程  
登録日本語教員養成・実践研修課程

○沿革と概要

大手前大学では 2010 年に通信教育課程を現代社会学部内に開設し、2015 年度から日本語教員養成課程を開始しました。通信制という特性を生かし、国内外からの多くの学生がここで各々の学びを深めています。登録日本語教員養成・実践研修課程は、2025 年に文部科学大臣の登録を受け、2026 年度より運用を開始する新たな課程です。本学が長年培ってきた日本語教員養成の実績を基盤に、内容をさらに充実させています。

○受講資格・定員

受講には、通信教育部の学生である必要があります。課程修了に必要な科目のみを履修する科目等履修生のほか、高校卒業後、1 年次生として入学または、短期大学・専門学校卒業者を対象とした編入学で入学し、課程の修了と同時に大学卒業資格を取得することも可能な正科生があります。なお、本課程は2 年間で修了可能なカリキュラムとなっており、定員は、1 学年 250 名です。

○課程修了要件

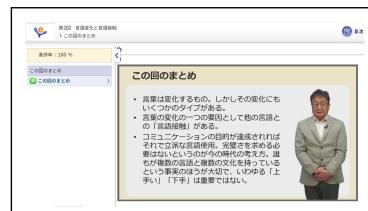
課程の修了要件は、学士の学位を有することに加え、所定の授業科目のうち必修 29 単位を含む 33 単位以上を修得することです。この 33 単位には実践研修(教壇実習)が含まれます。

なお、実践研修は、所定の単位(22 単位)

以上を修得した在学 2 年目以降の学生のみ受講することができます。

○課程授業の一例

本課程では、本学独自の LMS を使用して授業を行います。授業は「動画配信型」と「ライブ配信型」の 2 つの形態があります。「動画配信型」における 1 単位科目は、オンデマンド動画(90 分×8 回)を視聴したあと、確認テスト、小レポート、ディスカッションといった課題に取り組みます。各回の課題をクリアしなければ次の回に進むことができない仕組みになっており、分からぬ点があればいつでも担当教員に質問することができます。



「動画配信型(LMS)」の画面例

一方、「ライブ配信型」は 90 分の授業が 8 回、2 日間(1 日 4 時限×2 日間)にわたって行われるもので、授業では教員との同時双方向のやり取りが行われる他、学生同士でのグループワークも活発に行われます。その特性を生かし、演習系の授業でこの形式を多く取り入れています。

課程修了要件は 33 単位ですが、それ以上の単位を取ることも可能です。本学ではビジネスや心理学、教養など、約 180 科目を開講しており、本課程の科目と合わせて自由に組み合わせて学ぶことができます。多くの科目を受講することによって幅広い知識と技能を持った

日本語教員を育成することを目指しています。

○教壇実習

教壇実習は、課程の集大成として、本学夙川キャンパスまたは東京会場にて、対面(スクーリング)形式で行われ、国内外から通信教育部で学んできた、多様な背景や経験をもつ学生が一堂に会します。学習者として参加する留学生も含め、互いの視点や経験に触れながら学び合える点は、本課程の最大の魅力です。

また、教壇実習は対面(スクーリング)授業のみで完結するものではなく、受講期間中は LMS を通じて担当教員に相談、質問ができ、継続的な指導を受けることができます。これらの学びを通して、指導技術の修得にとどまらず、学び続ける日本語教員としての態度を育成することを目的としています。



専任教員による授業風景



教壇実習 オリエンテーション風景

○学習支援体制

本課程では、担当職員および専属の学修アドバイザーによる支援体制を整えています。学修アドバイザーは、履修相談や LMS の利用支援、各種問い合わせ対応など、学生に寄り添った学修支援を行っています。授業担当教員やチーフターとも連携し、学生の学修をサポートします。

○課程修了と進路

現在の日本語教員養成課程では、これまでに 1,500 人以上の修了生を輩出しており、修了生同士のコミュニティが形成されています。こうしたコミュニティを基盤として、在学生・修了生の交流の場を設け、国内外に広がるネットワークを通じて、就職や日本語教育現場に関する情報交換を支援しています。



教員による日本語教育に関する座談会の様子

○大手前大学通信教育部の養成課程について  
で知るには

以下の QR コード読み取り、[サイト](#)にアクセスしてください。

電話での問い合わせ  
も可能です。

0120-3229-24

海外からの場合

0798-32-7546

